



がん薬物療法専門医のコラム 第6回

ステージ、グループ ～ 数字の表す意味～

皆さん こんにちは

患者さんやそのご家族とお話する際に、しばしば、数字で状態を説明をします。

よく聞き返されることがありますので、ここで解説したいと思います。

今回は①グループ、②クラス、③ステージの3つを取り上げます。

グループとクラス この2つは、人体から採取した組織や細胞が、正常と異なっている程度を表すものです。胃カメラで胃の組織をとってくるようにある程度のまとまったものをちぎって調べる場合（組織診といいます）にはグループを、子宮をブラシのようなものでこすってはがれたバラバラの細胞をみるような場合（細胞診といいます）にはクラスを用いて分類します。

共に1～5の五段階評価をします。正常の場合には1、正常とかけ離れている = がんである場合には5と判断します。大雑把に言えば、数字が5に近づくにつれ、がんの疑いが大きくなります。『先日の検査結果がグループ5で、〇〇がんと診断しました』という風に医師から告げられることがあると思います。

こうした組織診や細胞診の結果を説明させていただくと、数字が5というのを聞いて、がんが進みきった状態、すなわち、打つ手がない末期癌を連想して必要以上に悲観される方がいらっしゃいます。しかし、これは全くの誤解です。

がんの進み具合を表す分類は ステージといいます。先ほどのグループ、クラスは、がんであるかないかを判断するものです。5であると確実にがんであると診断します。ステージは、がんの種類によって異なりますが、0ないし1から4までに分類されます。通常、発生源となる部位から遠く離れた場所にもがんが及んでいる（遠隔転移がある）と、ステージ4と診断されます。ステージ5というものはありません。従って、詳しい用語は忘れてしまったとしても、『5でがんです。』と医療者からいわれたとすると、がんかどうか調べる検査でがんと診断されたのだと理解してください。

一方、ステージ4といわれた場合、末期がんでもう治療がないんだと悲観しないでください。もちろん、ステージも数字が小さいほうが、初期に近いですから、小さいにこしたことはありません。しかし、ステージ4だから治療がないということでもありません。初期のがんには初期のがんの、ステージ4のがんにはステージ4の治療というように、それぞれの状態にあった治療があります。医療者と患者さん達が共通認識で治療法を考えていく必要があります。今回お話しした数字はそのための共通言語になりますので、理解した上で、治療を受けていただきたいと思います。

ではまた。

